

船長よりも偉い!?! 漁労長の実態は?



沖縄水産高校
1年1組10番
知念 りほ

大人数で漁を行うカツオ船やマグロ船では船長よりも偉いと言われている「漁労長」と呼ばれる職業を行っている人達がいいます。私は船で一番偉いのは船長だと思っていたが、船の種類によっては船長よりも偉い人がある事に驚いたのでこの新聞では「漁労長」について調べて自分なりにまとめてみました。

漁労長とは?

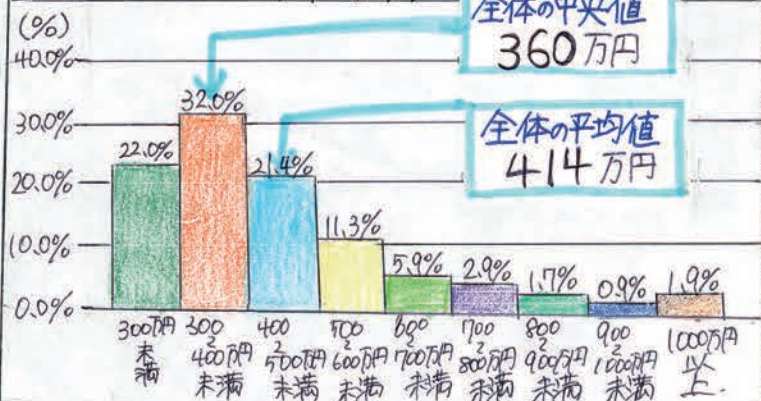
する一切の責任を負っていて、どこで漁をするのか、いつまで漁をするのか、漁場における操船の指示など漁に関するあらゆることを決める権限をもっています。

仕事内容

の入れ方、水揚げ場所、えさや氷の手配など漁に関する全責任を負っています。水産会社の売り上げも乗組員のボーナスも漁労長の腕次第というわけですね。ですから、腕のいい漁労長なら年俸1億円という人もいないわけでもないです。漁労長が変わった途端に値のつかない魚ばかり獲ってしまうこともあります。また、魚の市況を見ながら、どこに水揚げするかといった判断をするのも漁労長です。

年収

年収分布



船長との違い

主な違いは、責任の違いです。漁労長は操業に関する責任者だとすると、船長は船の責任者です。しかし、漁船の主は仕事は操業であり、どれだけのたくさんの魚を捕れるのかが大切です。なので他の船とは違い、漁船は船の責任者である船長よりも、操業の責任者である漁労長の方が大きな責任を背負っているため偉いといわれています。

必要な資格

りません。ですが実績がモノを言う世界ですから、誰でもかになれる訳ではありませんし、なにかいもそれなりに収力が必要で、漁具はもちろん、魚群探知機、ソナー、潮流計、プロッター、ダーなどの計器を使いこなす知識も必要です。

編集後記

今回「漁労長」という職業について調べ、新聞にまとめてみると、初めはただ船長より偉い職業ということしか知りなかったけれど、実際には操業に関して何でも知っていて責任が、とても大変で誰でもかになれる職業ではないんだなと感じました。夢があって、魅力的な職業だと思いました。